

東部  
(三島市)

## 居場所

## コミュニティカフェ “悠遊”



地域の絆を深める場所に！町内会男性有志で立ち上げた居場所のニューウェーブ

昭和40年代に宅地造成された三島市若松町地域。徐々に高齢化が進み、一人暮らしの増加、孤立化が気になっていた民生委員の勝俣信一さんは、町内会の男性有志に声をかけ、平成25年4月にコミュニティカフェ“悠遊”を立ち上げました。場所は町内の自治会館で週2回の開設です。スタッフは代表を除いた全員、定年退職後の男性。皆さん、現役時代は仕事一筋、ボランティアの経験はありません。「いつ、誰が行って、そこで何をしてもいい」がモットーで、運営スタイルも自然体。「悠」の字のごとく、ゆったりとした時と空間の移ろいを感じる雰囲気づくりを大切にしています。70代以上の利用が約7割を占めていますが、隣には公園があるため親子連れが立ち寄ることも。「三世代が集える地域の絆を深めることができること」と勝俣さんは語ります。

## メッセージ



事務局長  
勝俣 信一さん

町内有志での立ち上げや自治会館利用、男性スタッフによる運営ということで、たくさんの方が観察・見学に来られます。月に平均100名近くが利用され、最初の頃は男性が3分の2を占めていましたが、このところ女性も増えています。独居の方や家に閉じこもりがちな方に足を向けていただくのがこれから課題。車椅子も用意しお迎えにも伺いますので、ぜひ声をかけて欲しいと思っています。

## ここに注目!!



現在、スタッフは男性6名。おそろいの赤いエプロンも板についてきました。



“悠遊”ではコーヒー、紅茶やココア、緑茶が飲み放題。「最初の頃は器をカタカタさせて運んでいましたが、今はみんな上手ですよ」と勝俣さん。



悠遊で活動をしている三つの手芸グループの一つが、エコクラフトを材料にしたコースター作りに挑戦しています。ほかに編み物に挑戦するグループ、着物や帯をリフォームして袋物作りに挑戦するグループなど、お弁当持参で楽しい一日を過ごしています。

## DATA

☎(055)973-2074  
(悠遊代表 服部光弥)

三島市若松町4295-5  
若松町自治会館

開設日時／毎週火曜・木曜 10:00～16:00

会 費／1日100円

ア ケス／JR三島駅より伊豆箱根鉄道バス  
富士見台行き「百合ヶ丘入口」下車  
徒歩8分

駐車場／無

※観察は事前の電話連絡必要

〈観察連絡先〉事務局 勝俣 信一(090-9915-5902)



## 〈経緯〉

平成25年 若松町自治会館にてコミュニティカフェ“悠遊”をオープン

## 〈運営〉

運営主体:若松町自治会  
有志  
代表者:服部 光弥

東部  
(御殿場市)

## 居場所

## さんぽ路



子どもから高齢者まで誰でも気軽にお茶を飲みに寄れる場所

構想からわずか3ヶ月足らずで開設した「さんぽ路」。想いと仲間の存在、そして出会いがあれば、軽やかに「居場所」を立ち上げができると教えてくれます。代表の宇野さんが前々から気になっていた「サヨばあちゃんの休憩所」(8ページ掲載)を訪ね、諸田サヨさんに会ったのが平成26年の夏でした。「私もサヨさんのような居場所をやりたい!」という宇野さんの熱い想いに、長年のつきあいがある抹茶を楽しむメンバーが賛同。空いていた宇野さん所有の家を会場に平成26年12月にオープンしました。幼児を連れた母親から90代の方まで。一日いる人、ランチを食べに来る人、お抹茶を飲みに来る人、ご近所の人、遠くから来る人と多彩です。一方、料理、菜園づくり、茶道などそれぞれの得意なことを活かし、スタッフ自身も自然体で「さんぽ路」を楽しんでいます。



民家を活用した「さんぽ路」。一般家庭と変わらないリビングルームで多世代が集い、さらに人の輪が広がっていきます。

## メッセージ



代表  
宇野アヤノさん

14人のスタッフで運営しています。地域の皆さんの居場所であると同時にスタッフにとってもここは心安らぐ居場所です。立ち上げ前には「居場所」活動の先輩に来ていただき学習会をして、スタッフみんなの気持ちをひとつにしていました。人が和み、人の輪が広がる居場所を目指しています。

## ここに注目!!



## お抹茶で一服

カフェメニューは抹茶セットが200円(お菓子付き)。抹茶のたて方や飲み方も教えてもらえます。コーヒーは100円。



## ランチ

ランチは350円。スタッフは全員ベテラン主婦。料理が得意な人が中心になって作ります。



## 菜園

庭を利用した菜園。世話をするのは畠づくりが得意なスタッフ。収穫した野菜はランチに活用。